



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 大和自動車交通株式会社

上場取引所 東

コード番号 9082 URL <http://www.daiwai.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 新倉 能文

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 加藤 雄二郎

TEL 03-6757-7164

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	13,288	2.1	466	△35.1	89	△75.5	△247	—
25年3月期第3四半期	13,017	△0.4	718	△20.1	367	△44.7	△62	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 △188百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △64百万円 (△103.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第3四半期	△24.86	—
25年3月期第3四半期	△6.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第3四半期	24,469	3,091	12.4	305.08
25年3月期	17,488	3,309	18.6	326.99

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 3,041百万円 25年3月期 3,259百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	1.50	—	1.50	3.00
26年3月期	—	1.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	1.50	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	17,500	1.5	640	△11.5	200	△42.7	3,400	—	341.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	10,500,000 株	25年3月期	10,500,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	532,208 株	25年3月期	530,456 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	9,969,001 株	25年3月期3Q	9,970,712 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高の是正や株価上昇を背景とした景気回復への期待感が高まりつつある一方で、欧州経済の停滞及び新興国の経済成長鈍化などの要因による先行きの不透明な状況が依然として続いております。

ハイヤー・タクシー業界におきましても、法人及び個人の利用減少が続く厳しい環境のもとにありました。このような情勢のもと、タクシー部門は業務提携契約を締結した中央無線タクシー協同組合加盟24社を合わせた大和自動車交通グループ2,480台の車両が当社の商標（マーク等）を使用して運行しており、東京23区と武蔵野市、三鷹市で利用可能なGPS機能を活用したスマートフォンによる配車を開始し、自動配車受付システム（IVR）と合わせて迅速な自動配車を行うなど、お客様の利便性の向上と、提携各社との相互の発展を目指しております。

なお、平成25年10月16日付で公表しております「会社分割(簡易新設分割)による子会社設立並びに持株会社体制への移行に関するお知らせ」のとおり、当社グループといたしましては各事業の競争力を高め、責任体制の明確化を図るとともに、さらなる成長と収益の確保を目指すものとして、持株会社体制への移行を進めております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は13,288百万円と前年同四半期比2.1%の増収となり、経費面において賃貸不動産の増加による固定資産減価償却費の増加や乗務員募集活動の強化による宣伝広告費の増加もあり、全部門における業務の効率化をはかりましたが、営業利益は466百万円（前年同四半期比35.1%減）、経常利益は89百万円（前年同四半期比75.5%減）となりました。第1四半期連結会計期間に計上しました、平成26年3月に引渡しを予定しております固定資産（中央大和ビル）の解体費用345百万円を特別損失に計上した結果、四半期純損失は247百万円（前年同四半期は四半期純損失62百万円）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

①旅客自動車運送事業

旅客自動車運送事業では、ハイヤー売上高は得意先企業の経費節減と他社との低価格競争の影響により減少し、タクシー売上高は乗務員の営業指導を継続して実施し収益向上をはかり、乗務員不足解消の為、募集活動をより一層強化した結果192名が入社しましたが退職者も106名おり、稼働率の大幅な改善とまではいかず、旅客自動車運送事業売上高は9,539百万円（前年同四半期比0.4%減）、営業利益は213百万円（前年同四半期比55.1%減）となりました。

②不動産事業

不動産事業では、平成25年3月名古屋路木場ビル（江東区木場）、4月藤和東神田ビル（千代田区東神田）、5月ヒルサイドスクウェアビル（豊島区高田）、7月アルテビル東神田Ⅱ（千代田区東神田）、8月メゾン大島イースト（江東区大島）、9月Y S 三番町ビル（千代田区三番町）に続き、11月にはメゾン大島リバーサイド（江東区大島）と事業用収益物件を購入し、不動産事業の強化と収益の増強を進め、取得に伴う経費等もありましたが、不動産事業売上高は633百万円（前年同四半期比94.6%増）、営業利益は36百万円（前年同四半期は営業損失18百万円）となりました。

③販売事業

自動車燃料販売部門では、原油価格の高騰やタクシー業界の減車等の影響を受け販売数量が減少する中で、人件費や諸経費の削減に努めるとともに、顧客へのきめ細かいサービスの提供を推進しております。金属製品製造販売部門は、生産効率向上効果とともに、ISO9001を継続取得し製品の品質向上を進めておりますが、原材料価格の上昇もあり、販売事業売上高は3,114百万円（前年同四半期比0.1%増）、営業利益は214百万円（前年同四半期比18.0%減）となりました。

（注）売上高に消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は24,469百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,980百万円の増加となりました。これは土地が4,050百万円、建物及び構築物が2,696百万円それぞれ増加するなどの結果、固定資産が7,007百万円増加したことによるものであります。

また負債は前連結会計年度末に比べ7,199百万円増加の21,377百万円となりました。これは短期借入金が3,480百万円増加するなどの結果、流動負債が3,462百万円増加したことと、長期借入金が1,202百万円、社債が2,295百万円増加するなどの結果、固定負債が3,736百万円増加したことによるものであります。

純資産は四半期純損失247百万円を計上した影響から、前連結会計年度末に比べ218百万円減少の3,091百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の18.6%から12.4%に減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

法人および個人の利用減少など、当社グループの経営環境は引き続き厳しいものが予想されますが、現時点では平成25年11月11日発表の業績予想について変更はいたしません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,326	2,198
受取手形及び売掛金	1,448	1,488
有価証券	0	0
販売用不動産	3	3
商品及び製品	33	31
仕掛品	2	3
原材料及び貯蔵品	40	45
その他	797	870
貸倒引当金	△27	△43
流動資産合計	4,625	4,598
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,870	6,567
土地	6,758	10,809
建設仮勘定	—	16
その他(純額)	1,565	1,589
有形固定資産合計	12,194	18,983
無形固定資産		
その他	19	25
無形固定資産合計	19	25
投資その他の資産		
その他	763	979
貸倒引当金	△114	△117
投資その他の資産合計	649	861
固定資産合計	12,862	19,870
資産合計	17,488	24,469
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	754	807
短期借入金	2,477	5,957
未払法人税等	210	56
賞与引当金	86	29
固定資産撤去費用引当金	—	345
その他	2,190	1,986
流動負債合計	5,720	9,182
固定負債		
社債	25	2,320
長期借入金	5,766	6,968
退職給付引当金	839	927
役員退職慰労引当金	94	99
資産除去債務	222	224
負ののれん	0	0
その他	1,510	1,654
固定負債合計	8,458	12,194
負債合計	14,178	21,377

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	525	525
資本剰余金	2	2
利益剰余金	2,961	2,683
自己株式	△264	△265
株主資本合計	3,224	2,945
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35	95
その他の包括利益累計額合計	35	95
少数株主持分	49	50
純資産合計	3,309	3,091
負債純資産合計	17,488	24,469

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	13,017	13,288
売上原価	11,458	11,955
売上総利益	1,559	1,333
販売費及び一般管理費	840	867
営業利益	718	466
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	8	9
負ののれん償却額	0	0
受取車検費用	6	4
その他	23	25
営業外収益合計	40	41
営業外費用		
支払利息	141	191
退職給付会計基準変更時差異の処理額	114	114
シンジケートローン手数料	122	2
その他	13	109
営業外費用合計	392	417
経常利益	367	89
特別利益		
固定資産売却益	0	0
負ののれん発生益	4	—
特別利益合計	5	0
特別損失		
固定資産除却損	10	11
固定資産売却損	8	0
固定資産売却関連損	374	—
固定資産撤去費用引当金繰入額	—	345
その他	—	1
特別損失合計	393	358
税金等調整前四半期純損失(△)	△21	△268
法人税、住民税及び事業税	120	92
法人税等調整額	△78	△113
法人税等合計	41	△20
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△62	△247
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	0
四半期純損失(△)	△62	△247

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△62	△247
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	59
その他の包括利益合計	△1	59
四半期包括利益	△64	△188
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△63	△188
少数株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	旅客 自動車 運送事業	不動産 事業	販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,578	325	3,113	13,017	-	13,017
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22	100	817	940	△940	-
計	9,601	425	3,930	13,958	△940	13,017
セグメント利益又は損失 (△)	474	△18	262	718	0	718

(注) 1 調整額の区分は、セグメント間の内部取引に係る消去額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

負ののれん発生益に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	旅客 自動車 運送事業	不動産 事業	販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,539	633	3,114	13,288	-	13,288
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21	140	833	994	△994	-
計	9,561	773	3,948	14,283	△994	13,288
セグメント利益	213	36	214	465	1	466

(注) 1 調整額の区分は、セグメント間の内部取引に係る消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。